

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜	
体系	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智	
	基本事業	58	地域における子育て支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2316	
予算科目	会計一般	款3	項2	目4	事業連番10585	法令根拠	合志市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱		成果優先度評価結果	①
									コスト削減優先度評価結果	②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	働く人の仕事と育児の両立を図るため、育児の相互援助活動を行う会員(利用会員、協力会員)を組織し、コーディネイトする。(合志市社協へ委託)急な残業の際など、既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応するため、地域における育児に関する相互援助活動をファミリー・サポート・センター事業として、平成6年に国が規定。合志市では平成14年度から実施。合志市のファミリー・サポート・センター事業については、全国的に見ても実施自治体は少なく平成18年度で1,804自治体中480箇所の実施しかない。県内でも登録会員数や活動件数からみても熊本市に次ぐ規模であり県からも評価を得ている。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料 14,072千円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応できているということで評価を得ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
ファミリーサポートセンター事業を委託により実施した。これまでのファミリーサポートでは対応できなかった緊急な場合の支援として、「緊急サポート」を実施した。(子どもの急な発熱などでの保育園の送迎及び病院受診、病児病後児保育室が満室名場合の預かり、宿泊を伴う預かり)	・ファミリーサポートセンター事業を委託により実施する。
利用件数 4,019人 会員数 利用会員 1,010人 協会員 249人 両方会員 222人	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア ファミサボ利用会員登録数	人
→ イ ファミサボ協会員登録数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・小学校6年生までの児童を持つ保護者	→ ア 小学校第6学年までの児童数
・講習会を受講し、子育ての応援をしたい人	→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・子育てと仕事の両立ができる。	→ ア ファミサボ利用者数
・地域で子育てを支援する。	→ イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、平成22年度以降については、前年度並みで設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 人	909	1,032	750	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	
	イ 人	213	219	225	249	249	249	249	249	249	
② 対象指標	ア 人	7,348	7,554	7,554	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	
	イ										
③ 成果指標	ア 人	2,385	3,095	3,095	4,019	4,019	4,019	4,019	4,019	4,019	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円		6,152	5,657	6,237	5,656	5,656	5,656	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円		7,920	8,485	7,905	8,486	8,486	8,486	8,486
		(A)事業費計	千円	0	14,072	14,142	14,142	14,142	14,142	14,142	14,142
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	0	370	226	363	226	226	226	226
人件費	正職員従事人数	人	0	3	3	3	3	3	3		
	延べ業務時間	時間	0	90	55	90	55	55	55		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	14,442	14,368	14,505	14,368	14,368	14,368	14,368		

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 地域の相互援助という制度の中で、協力会員の協力と利用会員の理解のもと順調に達成している。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 会員も年々増加しているのに加え、利用も増えているため達成できると考える。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・これまでファミサポでは病児の預かりや宿泊はできていなかったため、平成22年度より病児の預かりや宿泊等も出来るよう協力会員を育成し実施したことで更に周知と利用向上を図る。 ・利用会員と協力会員の登録者数を増やす。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業が無い	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業を実施し国の補助を受けるにあたり会員相互を結びつける事務以外に会員への研修等の決められた事業条件があるため、必然的に必要な経費であるため削減余地は無い。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事務内容であり、今以上の削減余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・子育て家庭が自由に利用できるもので、適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が推進している事業であるため、国にゆだねられる。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

登録会員数は年々増えているし、活動も増えている。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					